

トピックス

■【京都】JR京都駅商業施設の大規模リニューアル

2018年2月14日、西日本旅客鉄道株式会社はジェイアール京都伊勢丹を中核とする京都駅ビルの大規模リニューアルに着手すると発表した。1997年9月にグランドオープンした京都駅ビルは、20周年を迎える。世界有数の観光都市「京都」の玄関口である京都駅の利用者は1日約20万人を超え、年々増加傾向にある。

顧客の多様化に合わせた魅力向上を目的に低層階を刷新するもので、ジェイアール京都伊勢丹は開業以来、最大規模のリニューアルとなる。

駅ナカ商業施設は利用者の流動にに合わせて配置を抜本的に見直し、土産物売場を改札周辺に大規模に集積するとともに品ぞろえを充実させる。コンビニエンスストアや食品、ドラッグストアを充実させる。またコインロッカーを増設し、外貨両替機も設置して観光・旅行ニーズへの対応も図る。

ジェイアール京都伊勢丹は「京都と世界」「伝統と革新」をキーワードに、地下1階と地上2～5階を京都ならではの魅力に世界基準の価値を取り入れた新しさを提案するフロアに一新。地下1階は増床して和洋菓子・和洋酒・パン売場を拡大し、「格」と「新しさ」を打ち出す。地上2～5階は化粧品・婦人靴・バッグなどのブランドラインナップを充実させ、京都最大級の雑貨販売ゾーンを実現。トレンドのファッションや旬なデザイナーズブランドがそろった高感度な婦人服フロアに刷新する。

2月から順次工事に着手し、駅ナカ商業施設は2019年春に全面開業の予定。ジェイアール京都伊勢丹は地下1階が2018年末から2019年初、地上2～5階が2020年春にそれぞれ全面開業を予定している。



▲JR京都駅西口改札前イメージ



▲ジェイアール京都伊勢丹地下食品売場リニューアルイメージ

■【大阪】大阪市交通局公式アプリ「Otomo!」の配信が開始

2018年2月7日、大阪市交通局・株式会社大阪メトロサービスは大阪市交通局公式アプリ「Otomo!(オトモ)」の配信を開始した。「Otomo!」は普段から通勤などで地下鉄を利用する人々にもっと大阪の街を楽しんでもらうため、一人ひとりに合わせた「最適なおでかけ情報」を提供する無料のスマートフォン用アプリである。大阪のグルメ・エンターテイメント・ライフスタイル・イベント情報が毎日配信される。さらにアプリ上でOSAKA PiTaPaカードを登録することでOSAKA PiTaPaと連動したサービスが利用できるほか、より最適なおでかけ情報を取得することが可能。

また5月31日までの期間に同アプリをダウンロード・会員登録すると300マイルがもらえ、さらにOSAKA PiTaPaカードをアプリ上で登録すると200マイルもらうことができ、マイルを貯めるとさまざまな賞品の抽選に応募することができる。

大阪市交通局と株式会社大阪メトロサービスは、「『Otomo!』を通じてOne to One マーケティングのさらなる向上に取り組み、お客様に喜んでいただけるサービスの提供に努めてまいります。」としている。



『Otomo!』画面イメージ

マイルサービス: 毎日のゲームやイベント参加などアプリの利用でもらえるもので、たまったマイルは素敵な賞品への応募できる。

■【大阪地下鉄】ラッピング電車の運行

【地下鉄・ニュートラム】

2018年2月13日、大阪市交通局は募集していた南港ポートタウン線「ニュートラム」新造車両の外観デザインの採用作品を発表。採用されたのは最優秀賞の2点。

・大阪総合デザイン専門学校「チーム えぶり」による作品で、活気ある街と自然が解け合う南港や、朝から夜への時間の流れやタコから波への変化がデザインコンセプト。7月末から運行予定。

・同校の生徒(三宅さん)による作品で、電車で4乗った子供たちや大人にも南港ポートタウン線から見える景色を楽しんでもらえたらという思いを込めて制作された。8月末から運行予定。

【地下鉄・堺筋線】

2018年2月2日から地下鉄堺筋線で連続テレビ小説「わろてんか」のラッピング電車が運行する。ラッピングデザインには番組オープニングに登場するレトロな小物が描かれている。

また、ドア横にはヒロイン・北村てん役の葵わかさんが描かれている。

・運行期間: 2018年2月2日～3月31日 ・運行区間: 地下鉄堺筋線



▲「わろてんか」ラッピング電車

↓最優秀賞の作品2点(左:「チームえぶり」の作品 右: 三宅さんの作品)



■【大阪・あべの】日本一高いビル「あべのハルカス」で新アトラクションが3月に登場!!!

2018年3月7日に日本一高いビル「あべのハルカス」(大阪市阿倍野区)の展望台「ハルカス300」に断崖絶壁のスリルを体験できるアトラクション「EDGE THE HARUKAS」がオープンする予定。

地上300メートルの高さの同ビルの最長部に、大人1人が歩ける約60センチの幅のデッキ部を新設。そこを命綱を装着して20メートル歩くというスリル満点のアトラクション。超高層ビルから縁ギリギリに立ってその真下を覗けるほか、ささぎるものが何も無い状態で360度の絶景が見渡せるこれまでにない体験ができる。※利用制限として身長145センチ以下または200センチ以上の人は参加できない。

「ハルカス300」では地上300メートルからの眺望はもちろん、ビアガーデン・ボールプール・プロジェクションマッピングなど季節に応じて楽しめる体験を年中開催し、2017年9月には累計来場者数が700万人を突破。

価格は参加料と記念写真1枚・写真データ込みで一人につき1,000円。(別途展望台入場料必要) 開催時間は10時～18時までで、雨天時や荒天時には中止となる。同施設のオープン日に開業5周年を迎える「あべのハルカス」は新アトラクションにより展望台「ハルカス300」の高さ・絶景・楽しさに「驚き」の体験を新たに加えることで、新規客・リピーター客の来場を促進。より賑わいに溢れた空間を創出したいとしている。

⇒「EDGE THE HARUKAS」イメージ図



「EDGE THE HARUKAS」設置箇所